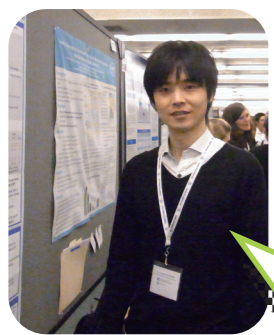


## 研究スタッフ紹介



### 藤川 慎也

東京大学大学院  
医学系研究科

**私**は、コホート調査の研究員である一方で、クリニックでこころのケアにも取り組んでいます。クリニックでお会いする方たちの中でも、特に思春期のお子さまの悩みはめまぐるしく変化する印象があります。また、悩みからおどろくほどのスピードで回復するお子さまもおられ、思春期のお子さまの力には、いつも頼もしさを感じています。

私自身の思春期を振りかえると、周りの環境や友達関係が大きく変わる中で、しっかりと目的も無く、ただ日々を過ごすだけでした。ある時はその場の流れで学校のそとで友だちを作り、そこにいりびたり、ある時は思いのままに自転車で隣の向こう側に出かけたりしていました。その後、なりゆきにまかせて過ごすことに疑問を持つようになったものの、どのように解決すれば良いのか分かりませんでした。その時に、兄や先輩達はお手本となる頼もしい存在に感じられました。そして、身近な存在をお手本にして、自分の判断で将来の目標を持つことにより、毎日を意欲的に過ごせたのを思い出します。このような経験を通して、思春期ならではの悩ましい状況から大人に成長していくための力が得られたように思います。

現在、私は、思春期のお子さまが持つ頼もしい力がどのように育まれていくのかを、東京ティーンコホートのデータから明らかにする事に日々取り組んでいます。皆さまのご協力により1回目の調査が無事に終わり、この確かなデータを元に、国際学会で発表する機会をいただきました(写真はそのときの様子です)。海外の研究者の方からも大変強い関心をいただくことができ、この調査の重要性を更に実感しました。引き続き、少しでも皆さまのお役に立てるよう、しっかりと研究を進めていきたいと考えております。

★ご住所が変更になるご家庭、ご住所が変更されたご家庭へのお願いです。

**もうすぐ引越し!**  
だいたい準備も終わったし、新しい生活が楽しみだわ!  
ちょっと遠い場所だけど...

あっ!  
そういえば... ティーンコホートはどうすればいいの!?

**2 通りの方法がありますので、ご連絡ください**

**1 電話で連絡する**  
こんど引越しするのですが...

**2 ハガキを郵送する**  
そういえば、ニュースレターと一緒にハガキが入っていたわね...

ご協力いただける方へは  
**遠方のご自宅まで研究スタッフがお伺いします!**

ひきつづきご協力をお願いいたします

## TOKYO TEEN COHORT PROJECT

調査  
お問い合わせ先

一般社団法人 輿論科学協会「青春期の健康・発達コホート研究」事務局  
〒151-8509 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-8-6  
**Tel 0120-551-327** (AM10:00~PM6:00) 担当: 島田・井田

研究実施  
機関

東京大学  
公益財団法人 東京都医学総合研究所  
国立大学法人 総合研究大学院大学

協力  
自治体  
窓口

世田谷保健所健康推進課  
調布市教育委員会 教育部指導室  
三鷹市子ども政策部 児童青少年課



思春期のお子さんとの健康と発達の過程をアンケート調査などにより、科学的に検討するプロジェクトです。

東京ティーンコホートの詳しい情報はホームページでもご覧いただけます

<http://ttcp.umin.jp>

- ◆ 第1号~第5号ニュースレターを掲載しています。
- ◆ 現在の調査協力者数や東京ティーンコホートを紹介する動画も掲載しています。

東京ティーンコホート ニュースレター  
第6号(2015年12月発行)  
発行: 公益財団法人 東京都医学総合研究所

- 巻頭  
応援メッセージ: 長谷川 寿一
- コホートキッズ  
日本とイギリス 国際比較シリーズ 第1回

- 藤川 慎也
- 巻末  
今後も引き続きご協力をお願いします

# TOKYO TEEN COHORT NEWS LETTER

東京ティーンコホート  
ニュースレター

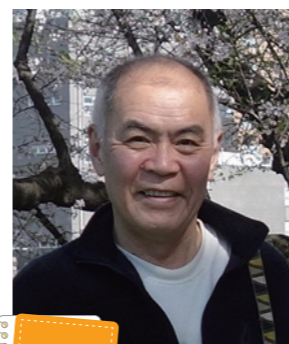
## Vol.6

2015. DEC

## 2015年もありがとうございました

今年も、みなさまからの多大なご協力をいただきました。本当にありがとうございます。東京ティーンコホート調査で得られたデータは、少しずつ、国際学会・国内学会で発表され始めています。ニュースレターでも、イギリスとの国際比較の結果を、3回連続シリーズでお伝えしていきます。2016年も東京ティーンコホートをよろしくご協力をお願いします。

## 応援 メッセージ



サポーター  
ファイル  
06

東京大学教養学部  
教授  
長谷川 寿一

川崎市出身。東京大学文学部心理学科卒、同大学院博士課程修了。文学博士。前東京大学理事・副学長(2013~15年)。専門は、動物行動学、進化心理学。イヌの研究もする愛犬家。kikulog プードルで検索して下さい。

東京の思春期の皆さん、  
ときどきはアフリカの森に住む  
遠い遠い親戚のことも考えてみて下さい

**今**から30数年前、アフリカで野生のチンパンジーを追いかけ調査する日々を送っていた。チンパンジーにはヒトのような明確な思春期はないが、約5歳で乳離れしてから約15歳で一人前になるまで、若者たちは彼らなりに試練の時代を過ごしていた。チンパンジーはオトナオス同士の絆が大変に強く、若いオスたちはそのネットワークに入る準備をする。派手な示威行動ができないと一人前とみなされないの、若者オスはわざとオトナメスの嫌がることをしたり、求愛行動のまね事をしたりしていた。他方、若いメスは母性行動の準備だろう、子守りが好きだった。ヒトとチンパンジーの最大

の違いの一つは、積極的な教育の有無だ。チンパンジーでは誰も何も教えてくれない。自ら学び取るだけだ。人間はとくに思春期に教育を通じて多くを学び、自分を律して成長する。遺伝的にはごく近いこの2種がどうしてこれほど違う道筋に進化したのだろう。東京ティーンコホート研究では、人類進化の研究にもつながる貴重なデータが蓄積されている。東京の思春期の皆さん、ときどきはアフリカの森に住む遠い遠い親戚のことも考えてみて下さい。

過去の応援メッセージは  
ホームページ上でご覧いただけます

東京ティーンコホート

知りたい!  
コホートキッズって  
こんな子どもたち



日本とイギリス 国際比較シリーズ

第1回

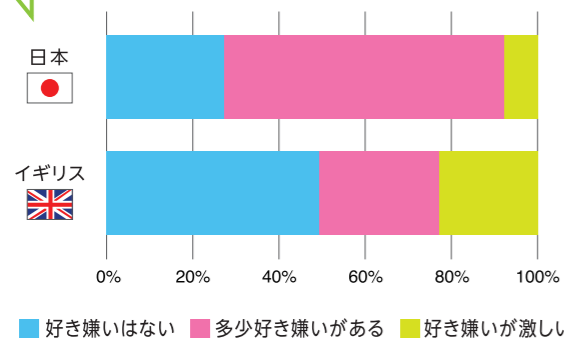
# 子どもの生活はどう違う?



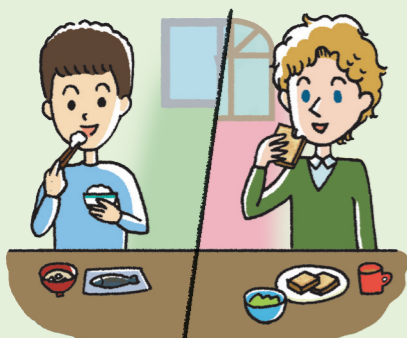
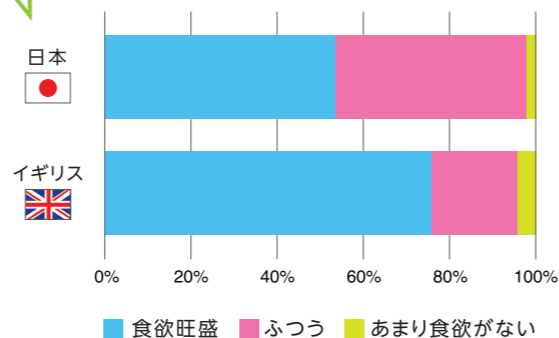
コホートキッズは、イギリスの子どもたちとどう違うのでしょうか? コホートキッズが育つ環境はどうでしょう?  
3回の国際比較シリーズを通じて、コホートキッズとイギリスの子どもたちの違いを明らかにしていきます。  
第1回は子どもの生活。子どもたちはどんな生活スタイルで毎日を送っているのでしょうか…?

## まずは食生活について比べてみます

なんでも食べられる?

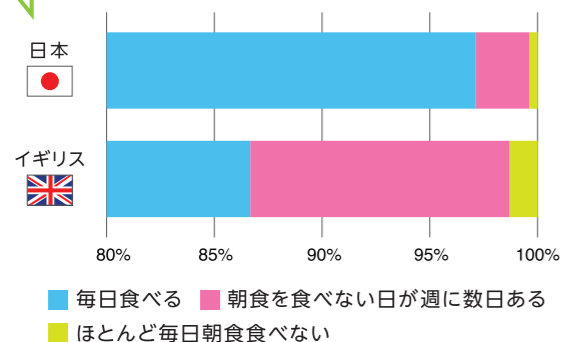


食欲はある?



イギリスの子どもたちの方が食欲旺盛で、好き嫌いのない子も多いようです。コホートキッズは、多少好き嫌いはあるけれど、朝ごはんは毎日食べることが多いようです。

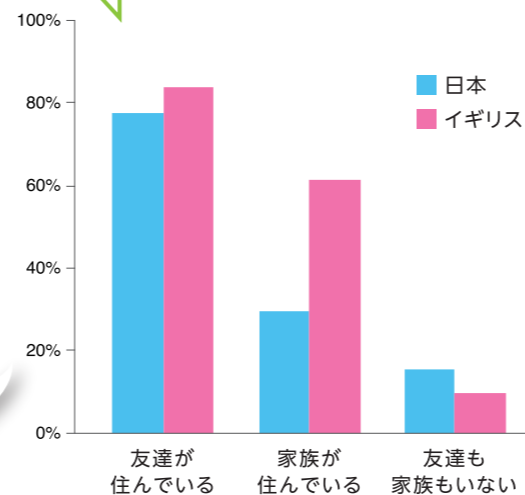
朝ごはんは毎日食べている?



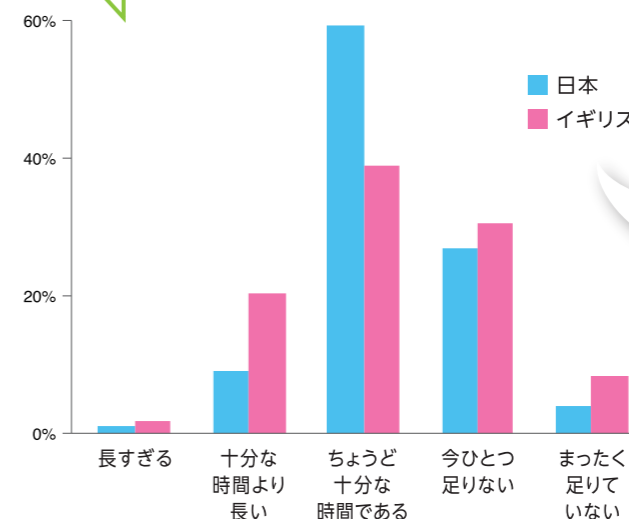
コホートキッズの養育者の方は、家族が近くに住んでいないケースが多いようです。

## 養育者の方の育児環境はどうでしょうか?

近所に、養育者の方の友達や家族は住んでいますか?



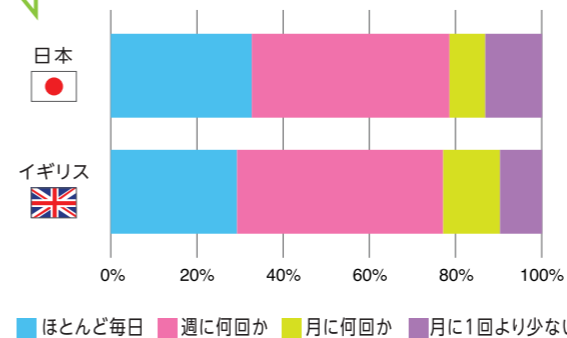
養育者の方は、お子さんと過ごす時間についてどう感じていますか?



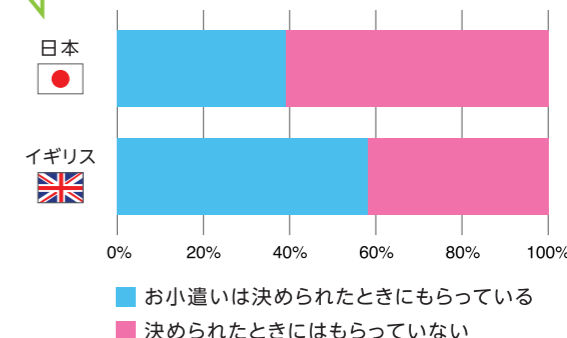
お子さんと過ごす時間を「ちょうどよい」と感じているコホートキッズの養育者の方は、60%近くでした。イギリスよりも、お子さんと過ごす時間についての不満は少ないようです。

## 次に、生活習慣について比べます

お手伝いをする?



お小遣いは決められたときにもらっている?



お手伝いをするかどうかには、国の違いはないようです。コホートキッズは、イギリスの子どもたちと比べると、お小遣いを決まったときにもらうことが少なく、寝る時は誰かと一緒に寝ているようです。

自分一人で寝ている?それとも誰かと一緒に寝ている?

